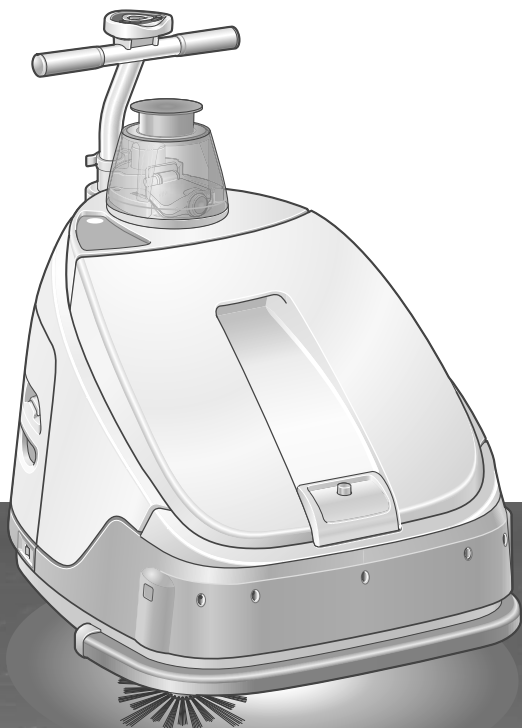


Panasonic[®]

取扱説明書

ロボット掃除機(業務用)

品番 MC-GRS2M



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～9・17ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 写真・イラスト、色合いは説明イメージのため、実際とは多少異なります。
- 説明に使用しているアプリの画面は、予告なく変更する場合があります。



もくじ

STEP.1 清掃の前に…

準備する

ページ

4 安全上のご注意

9 使用上のお願い

10 各部の名前

10 ・ 付属品を確認しましょう

14 お使いになる前に

14 ・ 清掃する場所を整える

16 充電する

18 ・ 電池残量の見方

19 アプリ画面の見方

20 お掃除マップを作成する

STEP.2 ロボット掃除機を使う

清掃する

25 清掃する

- 26 • マニュアル操作
- 26 • 登録したメールアドレスにお知らせ！

27 予約する

STEP.3 清掃のあとは…

お手入れする

28 ゴミを捨てる(お手入れ)

- 28 • ダストボックス
- 30 • 紙パック

32 お手入れする

- 32 • 回転ブラシ・ブラシカバー
- 33 • 本体底面
- 33 • 充電端子
- 34 • 吸気パイプ
- 34 • センサー部・赤外線送受信部
- 35 • 本体
- 35 • サイドブラシ

●困ったことがあったら…

必要なとき

36 音量の設定を変更する

37 ドライブレコーダー(別売品)の使い方

38 音声ガイド(エラー表示)

40 故障かな？

44 電池について

45 内蔵無線LAN使用上のごお願い

46 著作権など

47 仕様

裏表紙 定期保守整備契約について

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

必ずお守りください

危険

■電池(充電式リチウムイオン電池)

誤った使い方をしない

- MC-GRS2M 以外に使用しない
- 純正の充電式リチウムイオン電池以外は使用しない
(過電流により液漏れ・発熱・破裂するおそれ)

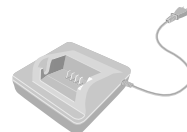
- 火への投入、加熱をしない
- ストープなどの暖房器具や火のそば、
炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)



- 水につけたり、水をかけたりしない
- 分解・改造をしたり、クギで刺したり、衝撃を与えたりしない
(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)

- (+)と(-)を金属などで接触させない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり
保管したりしない
(ショート(短絡)による液漏れ・発熱・発火のおそれ)

充電には専用の充電器を使用する (液漏れ・発熱・発火・感電の原因)



警告

■電池(充電式リチウムイオン電池)

 **ぬれた手で電池を触らない**
(発熱・発火・感電の原因)

 **傷ついたまま使用しない**
(液漏れ・発煙・発火の原因)



 **電池が液漏れして液が目に入ったときは、目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗う**
(失明の原因)
→直ちに医師の治療を受けてください。

■充電器

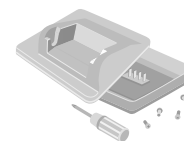
 **掃除機用電池の充電以外には使用しない**
(過電流により電池が液漏れ・発熱・破裂するおそれ)

 **コードを充電器に巻きつけて保管しない**
(感電・火災の原因)

 **充電中は布などで覆ったり、上に物を置いたりしない**
(内部が発熱し、火災のおそれ)

 **充電中は引火のおそれがあるものを近づけない**
(スパークし、爆発や火災のおそれ)

 **誤った使い方をしない**
●分解・修理・改造をしない
(感電・火災の原因)



●電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない
(感電の原因)

●電源プラグやコードを破損するようなことはしない
(回転ブラシに巻き込ませる、傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねて使用する など)
(感電やショート(短絡)による発火のおそれ)
→修理は、保守サービス担当窓口にご相談ください。

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない
(たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災のおそれ)

●充電器、電源プラグ、コードは、傷んだまま使わない
(発熱や発火による火災のおそれ)

●充電端子(P.33)を金属でショート(短絡)させない
(ショート(短絡)による液漏れ・発熱・発火のおそれ)

●針金や金属片などを充電器の内部に差し込まない
(発熱・発火・感電の原因)

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください

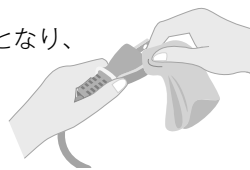


■充電器



電源プラグは、正しく扱う

- 根元まで確実に差し込む
(感電や発熱による火災のおそれ)
- お手入れのときは抜く
(感電の原因)
- ほこりは乾いた布で、定期的に拭く
(ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれ)



落下、衝撃、水ぬれ、高湿度な場所(洗面所など)での使用は避ける

(発熱・発火・感電の原因)

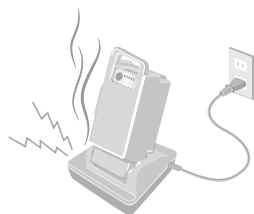
→水にぬれた場合には、内部基板に水が浸入していることがありますので、使用しないでください。



充電中に異音・異臭・発煙などの異常を感じたら充電を中止する

(爆発・火災の原因)

→充電器の電源プラグを抜き、電池を取り外してください。



■本体



人の出入りが多いときや子供のいる時間帯は使用しない
(事故・けがの原因)



引火性のもの、火の気のあるもの
そばで使用しない、吸わせない

(爆発・火災の原因)

ストーブなどの暖房器具、たばこ、
コピー用のトナー、灯油、シンナーなど



回転ブラシ・タイヤ・サイドブラシ・キャスター・
ローラーに触れない

(けが・やけどの原因)



本体に乗ったり、重い物を載せたり、
強い衝撃を与えたりしない

(けがの原因)



落下防止センサーにテープや
シールを貼らない

(本体の落下によるけがや火災・感電のおそれ)



次の場所では使わない

(本体の落下によるけがや火災・感電のおそれ)

- ・吹き抜けに面し、落下防止柵のないロフトや廊下
- ・玄関、階段、急傾斜のスロープ
- ・本体が旋回できない狭い所 など



**誤った使い方をしない**

- 水洗いしない(水洗いできる部品は除く)
- トイレなどの水回りで使わない
- 分解・修理・改造をしない(「お手入れする」(P.32~35)で、ブラシカバー・側面カバー・サイドブラシの取り外しは除く)
(感電・火災の原因)
- 充電端子(P.33)を金属でショート(短絡)させない
(ショート(短絡)による液漏れ・発熱・発火のおそれ)

**次のことを守る**

- 落下防止センサーが汚れているときはお手入れする
(本体の落下によるけがのおそれ)
- お手入れのときは、主電源スイッチを「OFF」にして、電池を取り外す
(感電・けがの原因)



本体が接触して事故をまねくおそれのあるものは移動させる
(火災・けが・事故の原因)



製品の安全な使用方法と危険性を理解している方がいる環境で使用する
(けが・やけど・感電の原因)



異常・故障時には直ちに使用を中止し、主電源スイッチを「OFF」にして、電池を取り外す
(発煙・発火、感電のおそれ)

異常・故障例

- ・「スタート/ストップ」ボタンを押しても、運転しない
- ・運転中、異常な音をする
- ・本体が変形したり、異常に熱くなったりする
- ・焦げ臭い「におい」がする

➡すぐに、保守サービス担当窓口へ点検・修理を依頼してください。

■乾電池(リモコン用)**誤った使い方をしない**

- 火への投入、加熱をしない
- 新旧・異種の乾電池を混用しない
(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)

**次のことを守る**

- 乾電池の⊕⊖極を確かめ、正しく入れる
- 使い切った乾電池は、すぐに取り出す
(液漏れ・発熱・破裂によるけがや周囲汚損のおそれ)

■内蔵無線LAN**医療用電気機器のある場所で使用しない**

(無線LANからの電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)

**自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用する場合は、誤動作しないか事前に確認する**

(無線LANからの電波により自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)

**心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から15 cm以上離す**

(無線LANからの電波によりペースメーカーの作動に影響を与えるおそれ)

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください

⚠ 注意

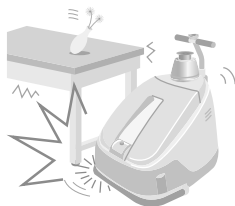
■充電器

- ❌ **電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない**
(感電やショート(短絡)による発火のおそれ)

■本体

- ❌ **火気に近づけない**
(排気で炎が大きくなり、火災のおそれ)
- ❌ **運転中、本体をのぞき込まない**
(転倒・けがの原因)

- ❌ **運転中、テーブルなどの上に物を置かない**
(本体が衝突した場合、衝撃で物が落ちて破損するおそれ)



- ❌ **傷みやすい敷物や床材(ワックス塗りたての床、大理石の床、畳など)では使用しない**
(破損・傷つきの原因)
→破損させた場合は、使用を中止してください。

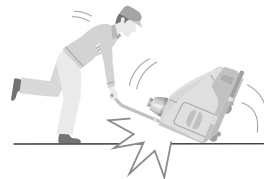
- ❌ **傷んでいる床材などでは使用しない**
(破損・傷みが拡大する原因)

❌ 誤った使い方をしない

- 回転ブラシ・タイヤ・キャスター・ローラー・サイドブラシが摩耗したり、砂・小石などの異物が付着したりしたら、そのまま使わない
(床面の傷つきの原因)
→ご使用前に点検し、摩耗時は保守サービス担当窓口にご相談ください。

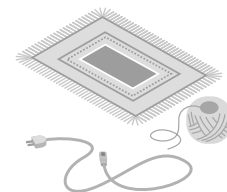
- 本体を引きずらない
(床面の傷つきの原因)

- ❌ **本体を運ぶとき(P.22)は、傾けすぎない**
(傾けすぎると不安定になり、本体が倒れて、けがや床面の傷つきのおそれ)



❗ 次のことを守る

- 清掃の前に、壊れやすいもの・吸い込まれると困るものは片づける
- 長いひもやコード類、フリンジ(房)の付いている敷物(じゅうたん・マットなど)は片づける
- 片づけられない箇所では使用を避ける
(破損・傷つきの原因)



- ❗ **本体を運ぶとき(P.22)は、運転を停止する**
(けがの原因)

- ❗ **お手入れなどで本体を床面に寝かせたり起こしたりするときは、足元に注意してゆっくり行う**
(けがや床面の傷つきの原因)

- ❗ **予約運転する場合、本機周辺の状況を確認できないため、事前に安全を確認する(P.14)**
(転倒・けがの原因)

使用上のお願い

清掃以外の目的に使わないでください。

■次のようなものは吸わせない(故障や異臭の原因)

- ・除湿剤 ・動物などの排泄物が付着したもの ・多量の粉(消火器の粉など)
- ・ガラス、ピン、針、つまようじ ・湿ったもの ・カーペットのフリンジ(房)
- ・水や液体 ・長いひも ・粘着性のあるもの(粘着式の防虫シートなど)
- ・食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの

■多量の砂、小石などがある場所は清掃しない(故障の原因)

■タイヤを変形させない(誤動作の原因)

■回転ブラシに注油しない(破損の原因)

■吸込口・排気口をふさがない(過熱による変形の原因)

■本体・リモコンの各センサーや赤外線送信部・赤外線受信部に、テープやシールを貼ったり、布をかぶせたりしてふさがない(故障や動作不良の原因)

■表面が硬く、凸凹したコンクリート床などは清掃しない(回転ブラシ・タイヤ・キャスター・ローラー・サイドブラシの摩耗の原因)

■移動にはハンドルを使用し、本体内部に手を掛けて移動したり、持ち上げたりしない

■移動時、本体を扉にぶつかけたり、本体を押して扉を開けたりしない(故障や破損の原因)

■乾電池(リモコン用)



ぬれた手で乾電池を交換しない

(液漏れ・発熱・発火・破裂の原因)



次のことを守る

- 乾電池に表示されている注意内容を必ず守る
- 使用推奨期限内の乾電池を使用する
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておく
- 乾電池の廃棄や保存は、電極をテープなどで絶縁する(液漏れ・発熱・破裂によるけがや周囲汚損のおそれ)

■電池(充電式リチウムイオン電池)



物を載せたり、落下しやすい所に置いたりしない

(発熱・発火・感電・けがの原因)



電池が液漏れして液が体や衣服に付いたときは、きれいな水で十分に洗い流す

(皮膚の炎症やけがの原因)



湿気やほこりの少ない場所で保管する

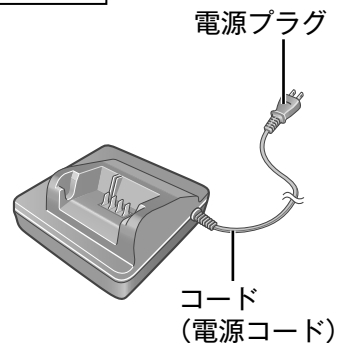
(発熱・発火・感電の原因)

各部の名前

付属品を確認しましょう

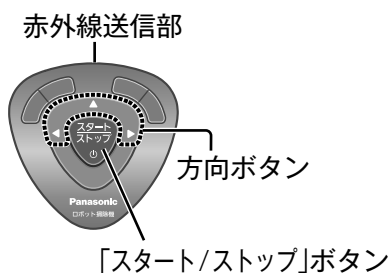
☐ の部品が付属品です。

充電器

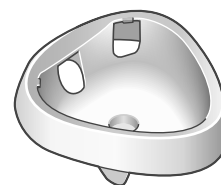


リモコン

(P.26)



リモコンホルダー

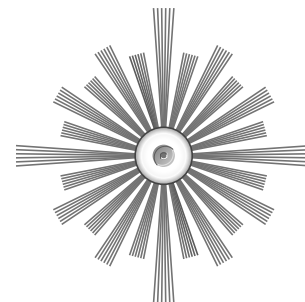


ネジ



● リモコンホルダーを取り付けるときに使用します。

サイドブラシ(P.11、35)



キー

(P.16)



キー番号

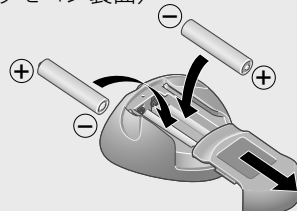
- 電池ロックに使用します。
- キーの番号は、キー本体に記載されています。キーは、紛失しないよう大切に保管し、キー番号は控えておいてください。

乾電池(単4形)



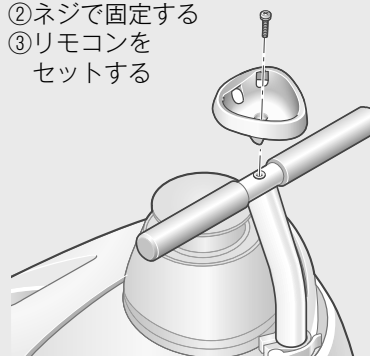
■乾電池を入れる

(リモコン裏面)



■リモコンホルダーを取り付ける

- ① リモコンホルダーをハンドル中央へ仮置きし
- ② ネジで固定する
- ③ リモコンをセットする



ナット

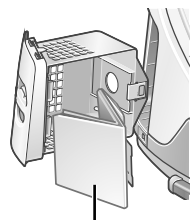


- サイドブラシを取り付けるときに使用します。(P.11、35)

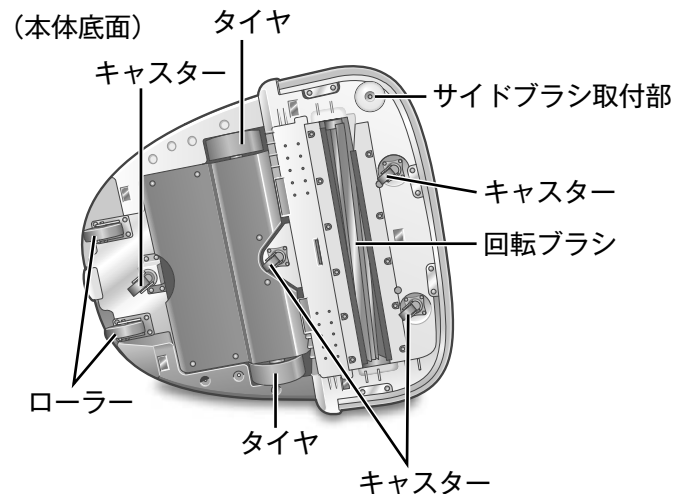
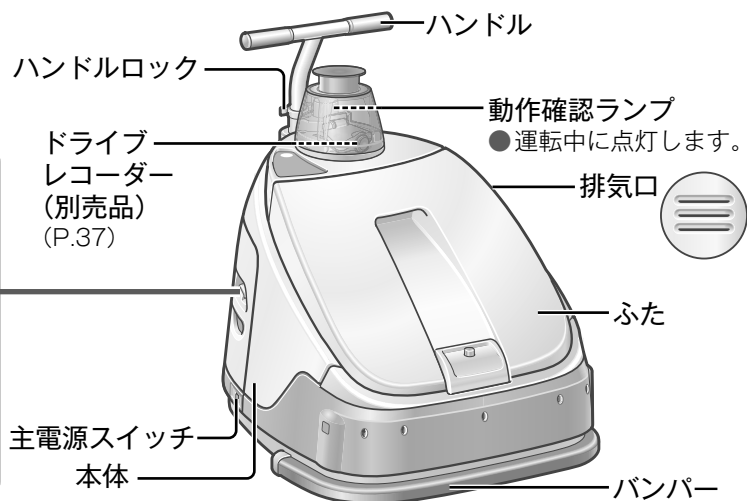
スペアキーの購入方法

キーを紛失された場合は、保守サービス担当窓口にご相談ください。その際には、保証書とキー番号が必要です。

紙パッケージ



紙パック(P.30)
● AMC93K-CA0

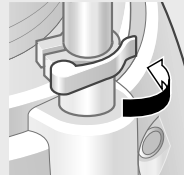
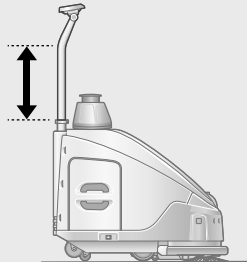
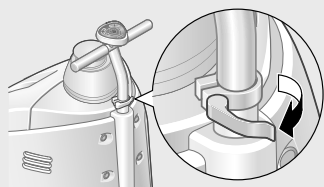


■ハンドルの高さを調節する

①ハンドルロックを手前に引いてロックを外し

②ハンドルを上下に動かして高さを調節する

③ハンドルロックを倒してロックする

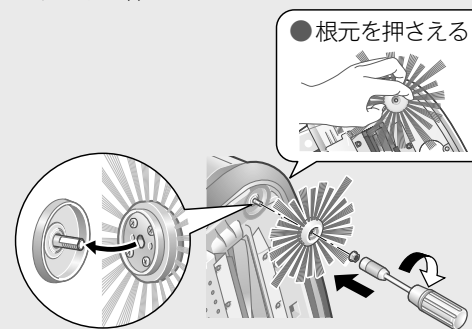
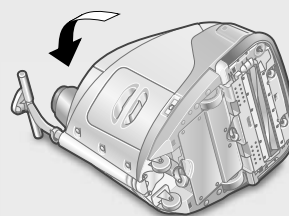


● ハンドルの高さは、床面から約73 cm～95 cmの間で調節できます。
(リモコンホルダー部分を含む)

■サイドブラシを取り付ける

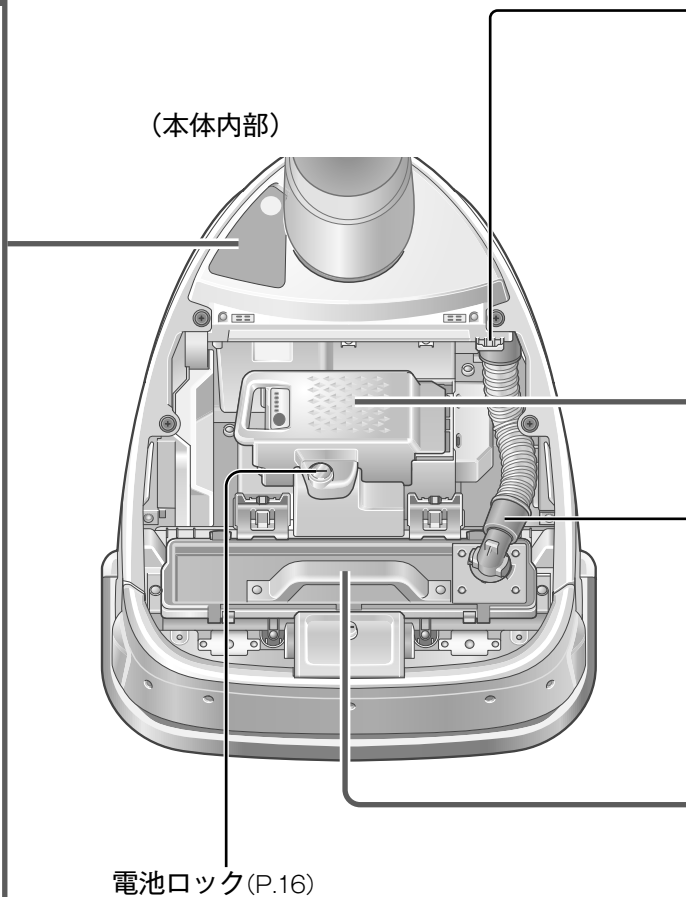
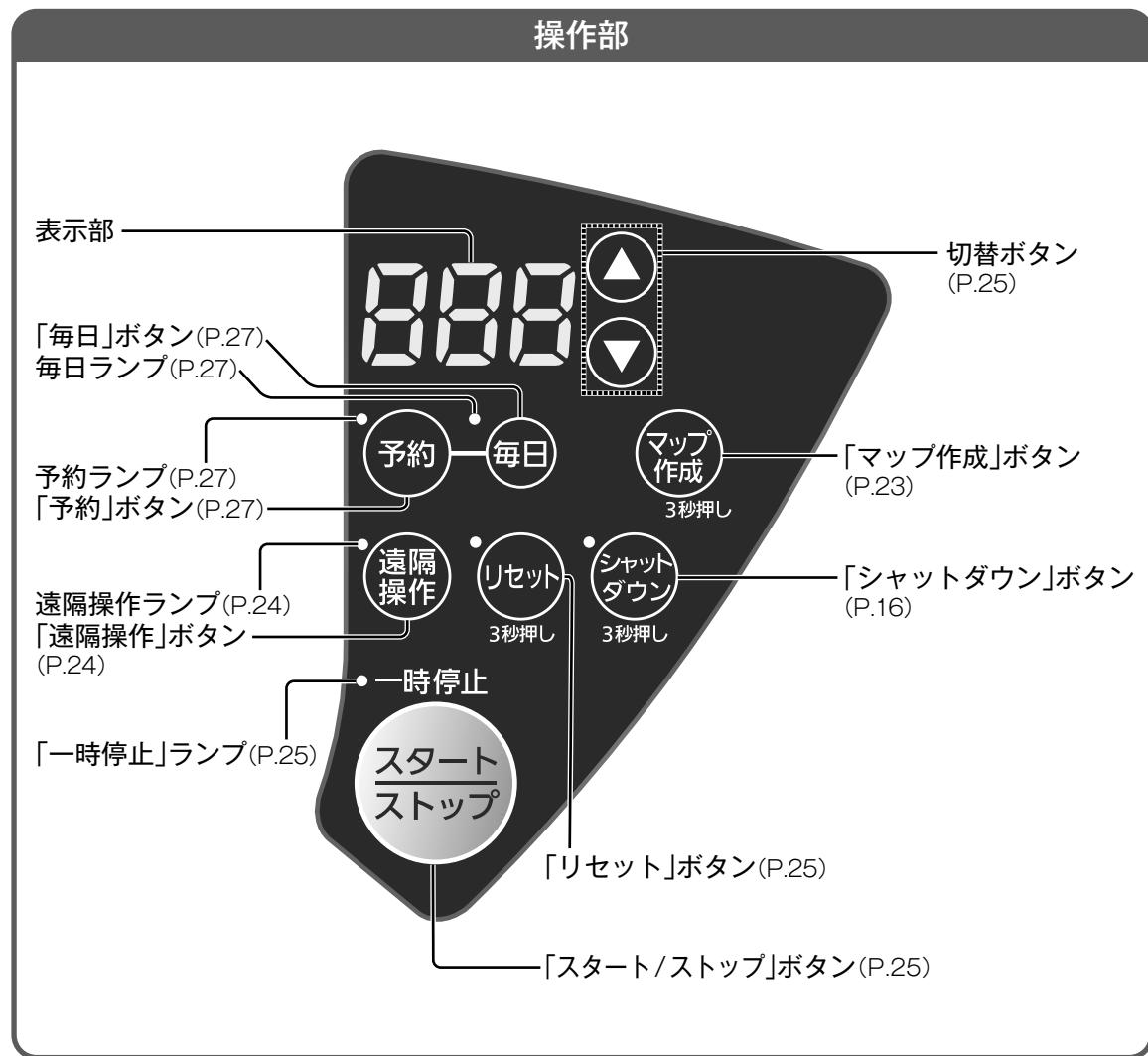
①サイドブラシ取付部を上側にして、本体を寝かせる

②サイドブラシを確実にはめ込み、ナットを締める



● 取り付けには、10 mmの六角ナットドライバーをお使いください。

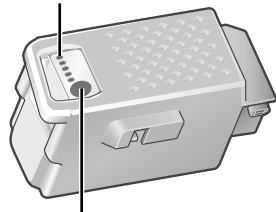
各部の名前 (つづき)



吸気パイプ用フック (P.28)

電池 (充電式リチウムイオン電池)

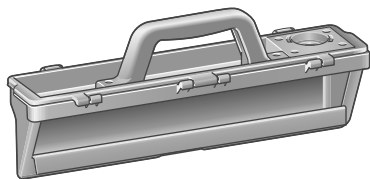
残量表示ランプ



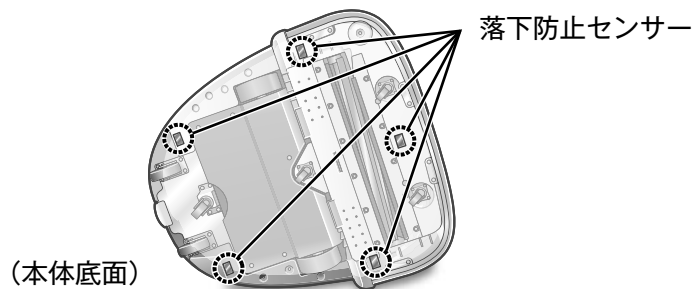
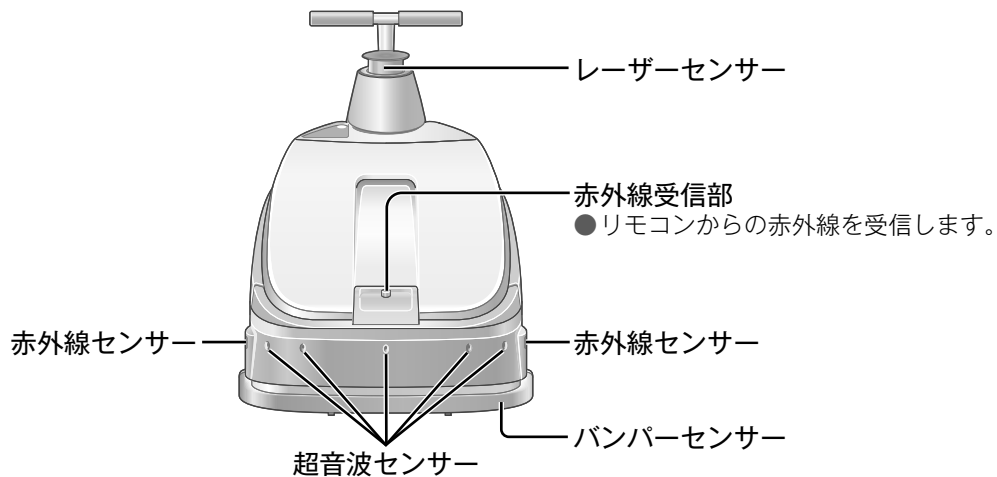
残量表示ボタン

吸気パイプ (P.28, 34)

ダストボックス



センサー部



- 超音波センサー・赤外線センサー・レーザーセンサーで障害物を検知し、障害物を避けながら走行します。
(条件により、障害物を検知しない場合 (P.41) があります)
- 落下防止センサーで約 10 cm 以上の段差を検知し、落下を防止します。

お使いになる前に

清掃する場所を整える

スムーズに清掃できるように…

右記のようなものは、次のいずれかを行ってください。

本体の運転が停止したり、マットやじゅうたんに絡まったり
オフィス家具などを傷めたりする場合があります

- あらかじめ片づける
- 別の部屋に移動する

こんな場所では使用できません

(正しく走行できなかつたり、絡みついたりする場合があります)

- 毛足の長さが7 mm以上のじゅうたん
- 薄くて柔らかい素材のじゅうたんやラグ・マットなど
- 鏡面状(ガラス、鏡、大理石など)の床、黒っぽいじゅうたんや床、畳など
(敷物・床面の傷つき、本体の誤動作・故障の原因)
- 約100 cmより狭い空間
- 約1.5 cm以上の段差(使用状況によっては、約1.5 cm未満の段差でも
乗り越えられない場合があります)
(本体が移動の途中で止まる、段差に乗り上げる原因)
- 屋外

誤って吸い込まれると困るもの、 床を傷つけるものなど

- たばこなどの火気
- 吸い込まれやすい小物
- 硬貨
- 動物の排泄物や液体
- 床に置いたガラスや陶器などの壊れやすいもの
- 粘着性のあるもの(粘着式の防虫シートなど)
- 金属・プラスチックなどの固形物
- アクセサリーなどの貴金属
- 小石



本体が衝突した場合、誤動作するおそれのあるもの

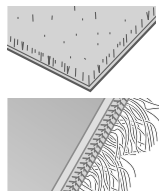
- 本体と同じ高さに操作部がある電化製品

本体が乗り上げて傷を付けるおそれがあるもの

- 本体が乗り上げてしまう高さにある家具
(コートスタンドなど)や電化製品

回転ブラシ・キャスター・タイヤ・ サイドブラシに巻き込まれやすいもの

- 毛足の長さが7 mm以上のじゅうたん
- 敷物などのフリンジ(房)
- 薄くて柔らかい素材のじゅうたんやラグ・マットなど
- すべり止め用ゴムマットなど粘性のある薄い敷物
- テーブルクロスやカーテンなど床に垂れ下がった部分
- 電気器具のコード
- ひもなどの細長いもの
- 薄い紙や布、ビニール袋など



行かせたくない所

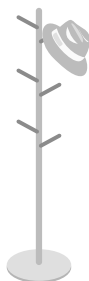
- 傷つきやすい建具や家具、壁
- 本体が乗り上げて動けなくなる段差など
- 床近くまである窓ガラスやブラインド、鏡など
- 階段、玄関など
- 熱を発する機器

本体の走行を妨げるもの

- 脚のある家具
- ハンドルが引っ掛かるもの

本体が衝突した場合、 転倒するおそれのあるもの

- 帽子・コートスタンドなどの細長くて軽い家具



●窓などから直射日光が当たらないようにしてください。
(誤動作を防ぐために)

充電する

お買い上げ時には電池が十分に充電されていないので、
ご使用前に必ず充電してください(充電時間は約6時間です)

電池を長持ちさせるために

- 充電器は5℃～35℃の場所に設置してください。
- 電池の温度が0℃以下または充電する場所との温度差が大きい場合は、十分に充電できていない場合があります。その場所で1時間以上放置してから充電してください。

お願い

- 使用しなくても、6か月に1回は残量表示ランプが2～3個点灯するまで充電してください。
- テレビ・ラジオなどの近くで充電した場合、雑音が入ったり、テレビの画面がちらついたりすることがあります。その場合は、電化製品から離して(コンセントを変えるなど)充電してください。
- 充電器の充電端子(P.33)にほこりがたまらないようにしてください。

お知らせ

- 充電器の電源プラグをコンセントに差し込むと、火花が発生する場合があります。回避方法としてスイッチ付電源タップをご使用になることをお勧めします。
- 清掃直後など、電池の温度が上昇しているときは、充電できないことがあります。電池の温度が規定温度まで下がれば、充電を開始します。
(周囲の温度により、充電開始までに1～2時間かかる場合があります)

主電源スイッチが「ON」のとき

■ 表示部  が点灯のとき

シャットダウンする(表示部消灯後、電池を取り外す)

■ 表示部  が消灯のとき

電池を取り外す

シャットダウンのしかた

 を押す →  が点滅 →  が消灯
(3秒以上)

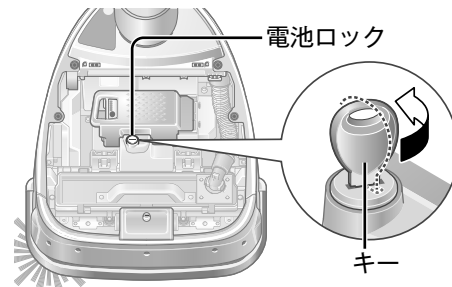
電池を取り外す

1 ふたを取り外す

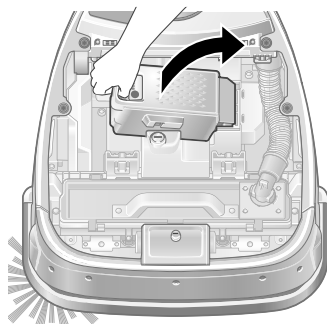


2 電池ロックにキーを差し、 反時計回りに約60度回す

- ロックが解除されます。

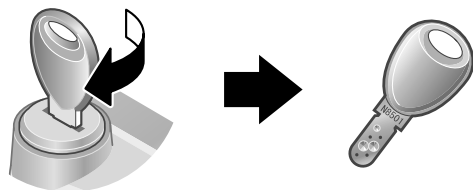


3 電池を引き上げて外す



4 キーを時計回りに約60度回してから引き抜く

- 電池を取り外したあとは、キーを抜いて保管してください。



充電する

1 電源プラグをコンセントに差し込み、電池を充電器にセットする

- ① 電池を上から入れ、
- ② 奥に倒す

充電中

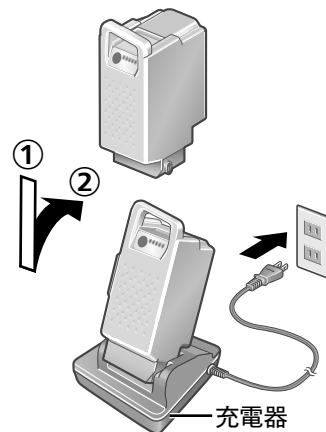


- 電池の残量表示ランプが点灯し、充電が始まります。

充電完了

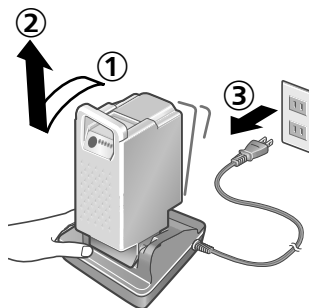


- 充電が完了すると、残量表示ランプは消灯します。



2 電池を充電器から外す

- ①充電器を手で押さえ、電池を手前に起こしながら
- ②取り外す
- ③コンセントから電源プラグを抜く



⚠ 注意



**充電中、充電器や電池の
同じ場所に長時間触れない**
(40℃～60℃になる場合があります、
低温やけどのおそれ)



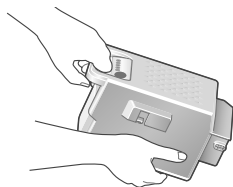
**充電器を手で押さえながら
電池を外す**
(充電器の落下によるけがや
床面の傷つきのおそれ)

充電する (つづき)

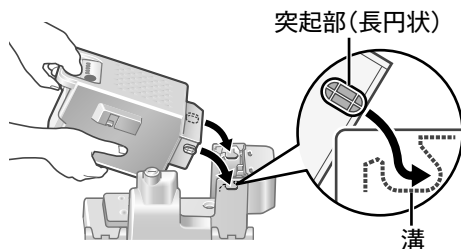
電池を本体に取り付ける

1 電池を両手で持つ

- 電池ロックにキーが差し込まれている場合は、抜いてください。(P.17)

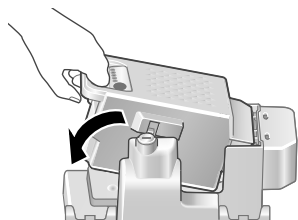


2 電池を手前に倒しながら、取付開口部の溝と、電池の突起部(長円状)を合わせる



3 電池をしっかりと最後まで押し込む

- 電池が外れないことを確認してください。



電池残量の見方

- 残量表示ボタンを押すと、電池残量を表示します
(電池残量の目安をお知らせします)



残量表示ボタン 残量表示ランプ

 ランプ5個とも点灯	残量81～100 % ●満充電のため、再充電はできません。 一度使用してから、充電してください。
 ランプ3個点灯	残量41～60 %
 ランプ1個点灯	残量11～20 % ●そろそろ充電してください。
 ランプ1個点滅	●充電してください。

- 1・3・5番目のランプが同時に点滅のとき高温・低温による充電停止です。
→温度が常温に戻るまでしばらくお待ちください。
- ランプが空⇒満(左⇒右)に1個ずつ流れるように点滅のときは、電池の故障と考えられます。
→保守サービス担当窓口にご相談ください。
- 残量を表示したあと、ランプが満⇒空(右⇒左)に2個ずつ流れるように2回点滅表示するときは、電池が劣化し、容量が新品時の約50 %以下になっています。
→電池を交換してください。(交換するまで表示されます)

アプリ画面の見方

アプリを使うために…
確認しましょう。

●専用アプリがインストールされた タブレット端末

●インターネット接続 インターネット回線と プロバイダー契約が必要です。



●無線LAN ブロードバンドルーター (以下無線LANルーター) ロボット掃除機をインターネットに 接続するために使用します。



本機を電気通信事業者の通信回線に直接接続することはできません。必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備(ルーターなど)を経由して接続してください。

(当社指定の無線LANルーターをご使用ください)

お願い

- セキュリティ対策のため、無線LANルーターで暗号化を設定することをお勧めします。
- タブレット端末・無線LANルーターについては、保守サービス担当窓口までご相談ください。

アプリ基本画面(トップ画面)

メニュー (アプリの使い方・設定)

- ロボット掃除機本体との無線接続設定、マップデータ管理など

稼働状況

- 清掃の履歴を表示します。

お掃除マップ メンテナンス

使い方ガイド

- 取扱説明書を表示します。



お知らせ

お掃除履歴

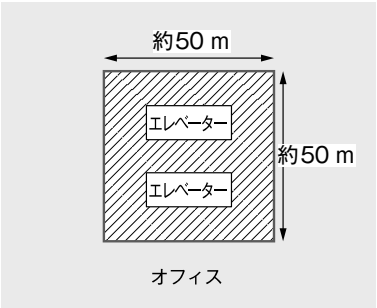
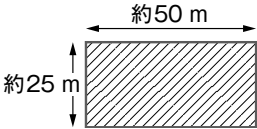
本体設定

- 本体名の変更、リモコン操作したときの移動速度の変更など

お問い合わせ

お掃除マップを作成する

マップ作成するフロア仕様の確認

フロアイメージ	フロアの想定仕様
<ビル共用部廊下> 	・廊下幅1.2 m以上 ・障害物は壁際のみを設置
<ホテル宴会場> 	・最大フロア面積約25×50 m ・テーブル、いす無し ・障害物は壁際のみを設置

マップ作成ガイドを確認する

1 マップ作成を動画でわかりやすく紹介

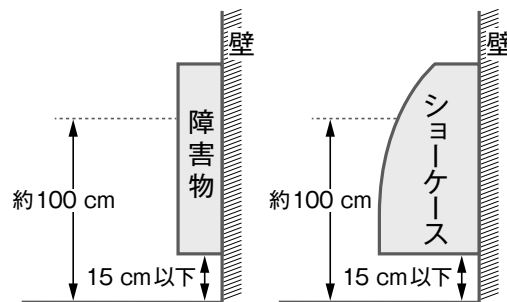
RULO Pro操作ガイド

https://panasonic.biz/appliance/VacuumCleaner/movie_manual/mc_grs2m.html

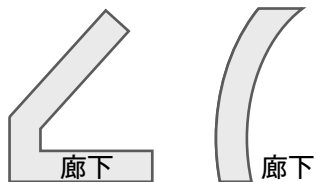


● 次のようなフロア仕様や障害物がある場合は、必ず保守サービス担当窓口にご相談ください。

- ・フロア中央に壁や障害物があるとき(柱、テーブル、ロビーチェア、点字ブロックなど)
- ・障害物が複数あるとき
- ・フロア面積が左図の大きさを超えるとき
- ・直射日光が当たるフロアるとき
- ・レーザーセンサーが検知しない壁(黒い壁、光沢の壁、ガラスなど)のとき
- ・フロアの両端がガラスのとき
- ・高さ約15～100 cmに障害物があるとき
(AED、ショーケース、パーティションなど)



・間取り形状が斜めのとき、湾曲しているとき



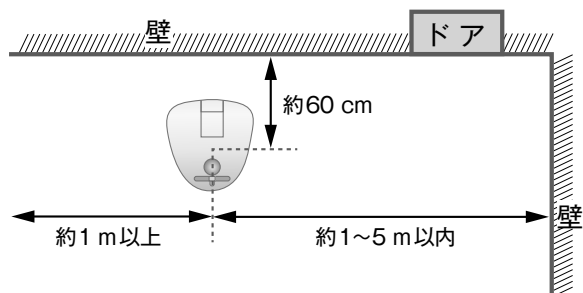
お掃除マップを作成する (つづき)

本体を清掃開始位置に運ぶ(移動する)

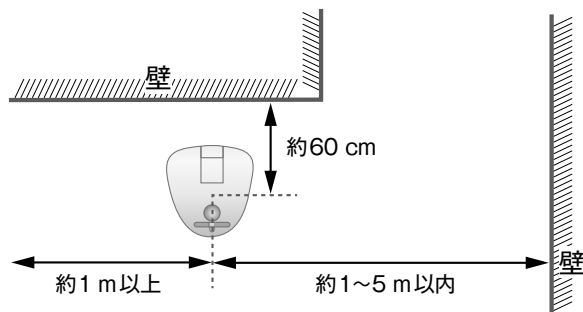
本体スタート位置

- ① 本体の正面を壁(ドアやガラスを避ける)に向け、約60 cm 空ける
- ② 正面壁と直交関係の壁から一方が約1~5 m 以内、もう一方が約1 m 以上の位置に移動する(下図参照)

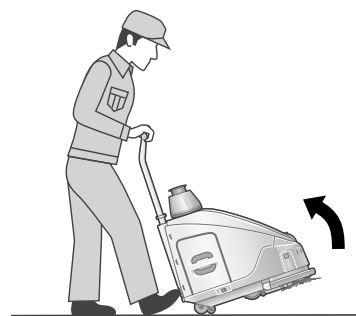
例)



例)



- 2 ハンドルを両手でしっかり持ち、手前に引いて本体を斜めに倒す



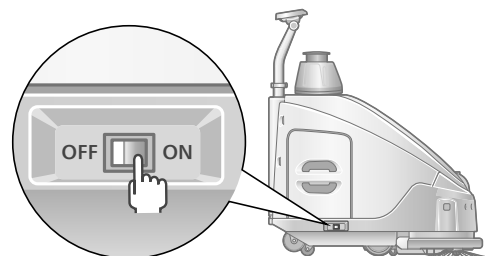
ゆっくり押しながら、清掃開始位置に移動し、本体をゆっくり下ろす



- 3 本体の主電源スイッチを「ON」にして、

スタート
ストップ

を押す ▶ が点滅 ▶ が点灯 または、お掃除マップ番号が点灯

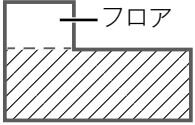
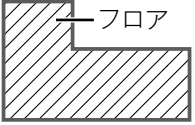
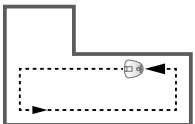
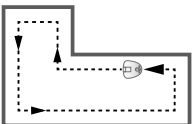


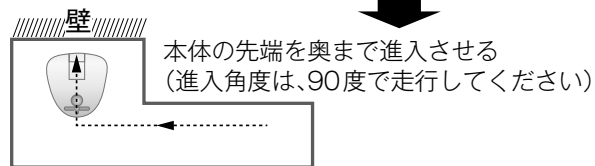
本体を手動で走行しお掃除マップを作成する

4  を押す(3秒以上) ▶  が点滅 ▶  ↔  (交互に点灯)

5 マニュアル操作(P.26)をして走行する

- 本体後面から操作をしてください。(後面から操作しないと、マップが正しく作成されません)
- マップ作成時は、人がいない状態で走行してください。(人を検知すると、マップが正しく作成されないことがあります)
- スタート位置から本体を90度回転させ、清掃エリアを走行してください。

	フロアの一部は対象外	フロア全体を清掃する
清掃エリア 	清掃禁止→ライン 	
マップ作成時の リモコン操作		



お願い

- 電池は満充電にして走行してください。
(満充電でないと最後まで走行できない可能性があります)
- 走行は、30分以内で完了してください。
メモリ残量が少なくなるとお知らせします。
(「故障かな?」(P.43)を参照してください)
- 本体の動きを妨げるようなことはしないでください。
- 壁と本体(中心部)の距離は、約60 cm～3 m以内を
走行してください。
- マップ作成の途中でキャンセルするときは、
シャットダウン(P.16)をしてやり直してください。

6 清掃開始位置まで戻れば走行完了

7  を押す(3秒以上) ▶  →  →  (繰り返す) ▶ 再起動

お知らせ

- 再起動までに、最長60分かかることがあります。

お掃除マップを作成する (つづき)

タブレット端末と接続して、お掃除マップを送信する

8  を押す ▶ 遠隔操作ランプ点灯 

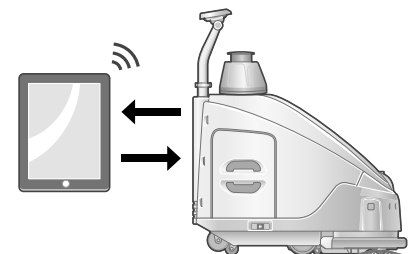
●遠隔操作ランプが点灯し、本体とタブレット端末との通信が有効(ON)になります。

9 タブレット端末でお掃除マップを、

①本体からタブレット端末へ回収する

お知らせ ●お掃除マップ作成後は、必ず本体からタブレット端末へ回収してください。
(回収せずにお掃除マップを作成すると上書きされます)

②タブレット端末から本体へ送信する



10 送信が完了したら、 を再度押す ▶ 遠隔操作ランプ消灯 

●遠隔操作ランプが消灯し、本体とタブレット端末との通信が切断されます。

お願い ●お掃除マップ送信後は、タブレット端末との通信は切断してください。

清掃する

お掃除マップを選んでスタートする

1 本体を清掃開始位置に移動(P.22)する

お願い

- あらかじめ設定した清掃開始位置から、1 m以内の場所に移動してください。

2 を押す(リモコンでも操作できます)

- 起動時には  が点滅し、その後お掃除マップの番号が表示されます。
- お掃除マップの番号が表示されないときは、本体の主電源スイッチが「OFF」になっています。
→主電源スイッチを「ON」にして、「スタート/ストップ」ボタンを押して起動してください。(P.22)

お願い

- 通常は、主電源スイッチを「ON」にしたままご使用ください。(主電源スイッチを「OFF」にすると、予約運転ができません)

3 を押して、 タブレット端末から送信したお掃除マップの番号を選ぶ

- 押すたびに切り替わります。



4 を押す(リモコンでも操作できます)

■一時停止したいとき

運転中に「スタート/ストップ」ボタンを押すと一時停止します。
一時停止中は、「一時停止」ランプが点灯します。
もう一度「スタート/ストップ」ボタンを押すと、運転を再開します。

■途中で運転を終了したいとき

- ①運転中に「スタート/ストップ」ボタンを押す
- ②「リセット」ボタンを3秒以上押す
 - 「一時停止」ランプが消灯し、運転を終了します。

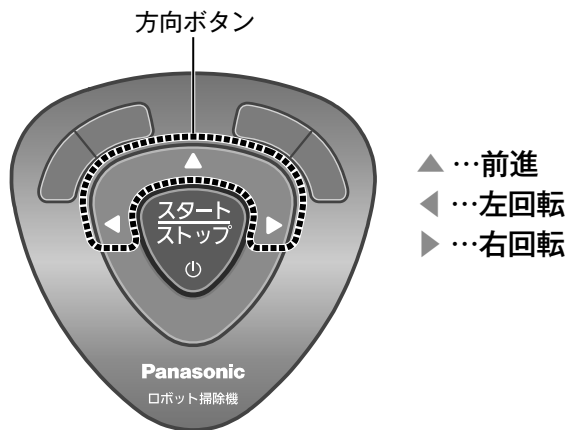
お知らせ

- 運転時間は清掃する場所により自動で決定します。オフィス家具などの配置、ゴミ量などにより、同じ場所でも運転時間が異なる場合があります。
- 清掃終了後・リセット後・一時停止中に、60分間操作しなかった場合は自動的にシャットダウンします。
- 運転中に電池残量がなくなると、自動的に一時停止します。
電池を充電(P.16)してください。停止した位置から再開できます。
電池交換中に本体を動かすと、運転を再開できなかったり、清掃範囲がずれたりします。

清掃する (つづき)

マニュアル操作

リモコンの方向ボタンを操作して、移動させながら清掃できます。(手動清掃)



お知らせ

- 本体が複数台ある場合、他の本体も同時に動くことがあります。

登録したメールアドレスにお知らせ！

- 清掃終了後のレポート
- 清掃中、電池残量がなくなったとき
- エラーで停止したとき
- 本体に異常が発生したとき

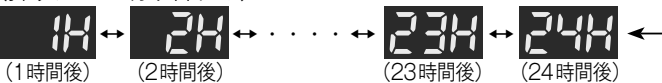


- メールを受け取るには、お申し込みが必要です。(5アドレス設定可能)
詳しくは、保守サービス担当窓口までお問い合わせください。

予約する

- 表示部が消灯のときは、「スタート / ストップ」ボタンを押して起動しましょう。
- 表示部が点灯しないときは、本体の主電源スイッチが「OFF」になっています。
→ 主電源スイッチを「ON」にして、「スタート / ストップ」ボタンを押して起動してください。

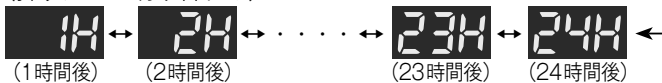
現在の時間から 1～24 時間後に清掃を開始する

- 1 お掃除マップの番号を選ぶ
例) 
お掃除マップの番号
- 2  を押す ▶ 予約ランプ点滅 
- 3   を押して予約時間を選ぶ
(押すたびに切り替わる)

- 4  を押す ▶ 予約ランプ点灯 →  ▶ 設定完了
(お掃除マップ番号表示)

お知らせ

- 次のようなときは、予約運転を開始しません。
 - ・ 主電源スイッチが「OFF」のとき
 - ・ 予約ランプが点灯していないとき
(「スタート/ストップ」ボタンを押して起動してください)
 - ・ 電池残量が少ないとき
- 予約ランプが点灯しているときに「予約」ボタンを押すと、設定されている予約時間が解除されます。新たに予約時間を設定してください。
- 予約設定中、お掃除マップ作成、手動清掃、アプリとの接続はできません。

毎日、同じ時間に清掃を開始する

- 1 お掃除マップの番号を選ぶ
例) 
お掃除マップの番号
- 2  を押す ▶ 予約ランプ点滅 
- 3   を押して予約時間を選ぶ
(押すたびに切り替わる)

- 4  を押す ▶ 毎日ランプ点灯 → 
- 5  を押す ▶ 予約ランプ点灯 →  ▶ 設定完了
(お掃除マップ番号表示)

- 予約は、主電源スイッチが「OFF」のときやシャットダウンをしても設定内容は記憶されています。
設定した予約を解除するときは、

 を押す ▶ 予約ランプ消灯 → 

ゴミを捨てる(お手入れ)

ダストボックス

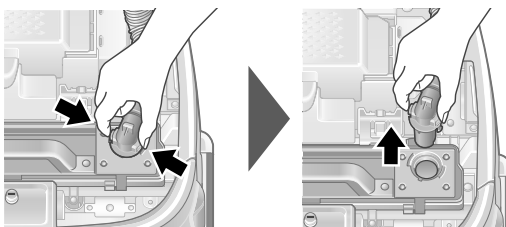
ダストボックスのゴミを捨てる

1 ふたを取り外す

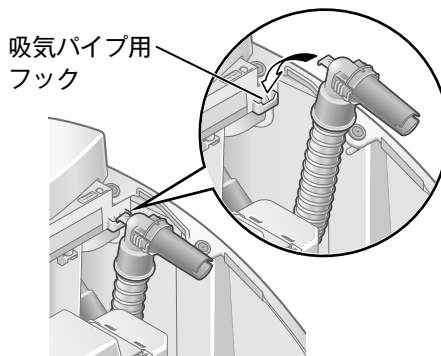


2 吸気パイプを外し、 吸気パイプ用フックに掛ける

①左右のツマミを押さえながら、上に引き上げる

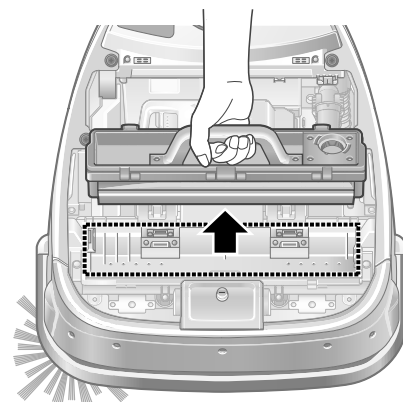


②吸気パイプ用フックに掛ける

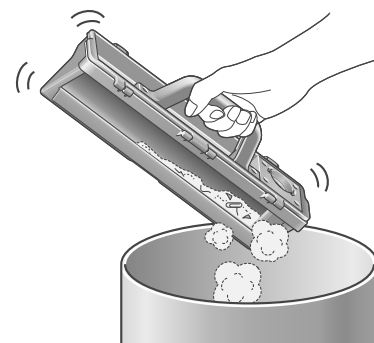


3 ゴミを捨てる

①ダストボックスのハンドルを持ち、
上に引き上げる

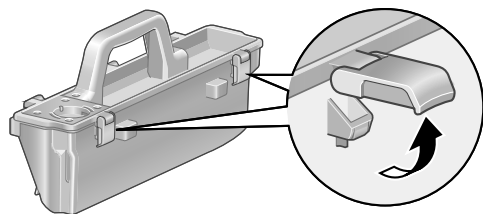


②ダストボックスのゴミを捨てる

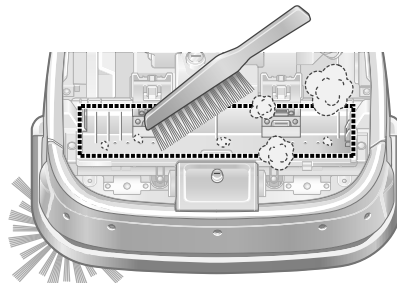


お手入れする

- 4 ダストボックスのフックを外す(2か所)

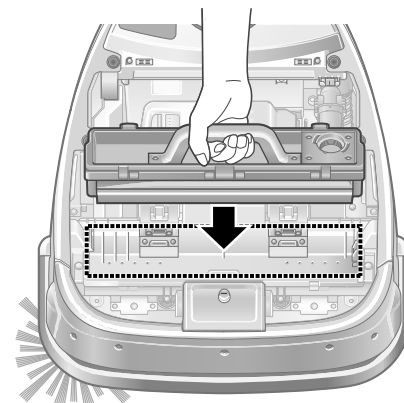


- 6 本体内部のゴミを取り除く
または掃除機で吸い取る

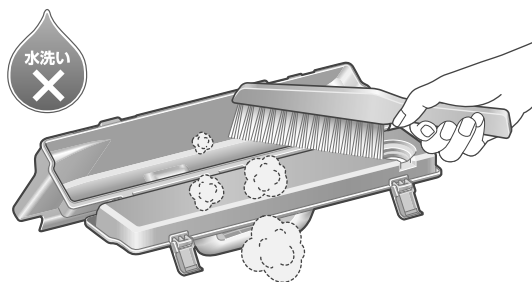


- 7 ダストボックスを元に戻し、
本体にセットする

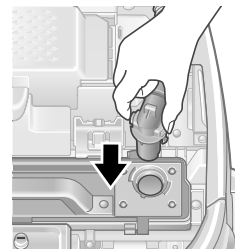
●奥まで押し込む



- 5 ブラシなどでゴミを取り除く
または掃除機で吸い取る



- 8 吸気パイプをセットし、
ふたを取り付ける



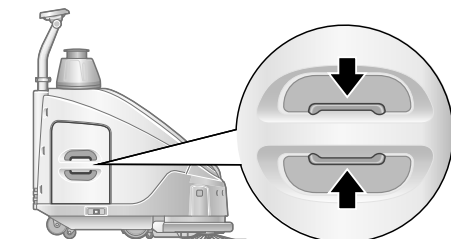
ゴミを捨てる(お手入れ) (つづき)

紙パック

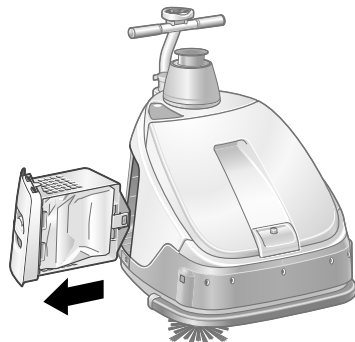
紙パックのゴミを捨てる

1 紙パックケースを取り外す

①上下の突起を押しながら

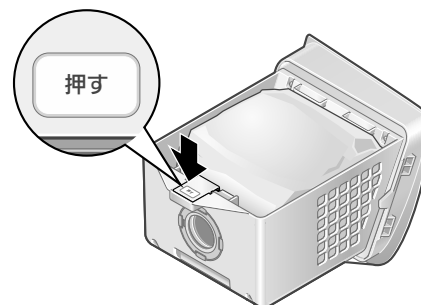


②引き出す

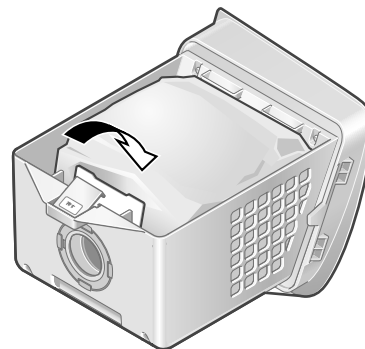


2 紙パックを外す

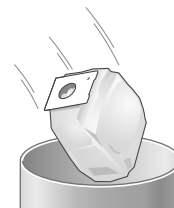
①「押す」部を押して



②白ボール紙を外す

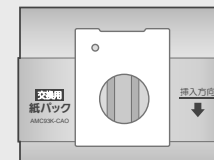


3 紙パックを捨てる



交換用の紙パックは、
純正のものをお使いください

品 番 : AMC93K-CA0 (1パック10枚入)
メーカー希望小売価格 : 2,640円
(2025年4月現在・税込)



紙パックは、パナソニックの公式通販サイト
でもお買い求めいただけます。
詳しくはサイトをご覧ください。

パナソニックの公式通販サイト

<https://panasonic.jp/store/>

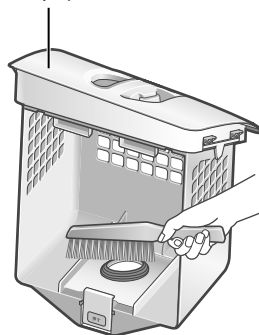


お手入れする

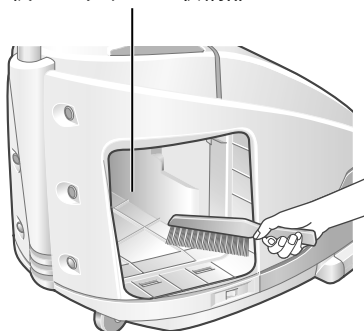
新しい紙パックを取り付ける

4 ブラシなどでゴミを取り除く または掃除機で吸い取る

紙パックケース



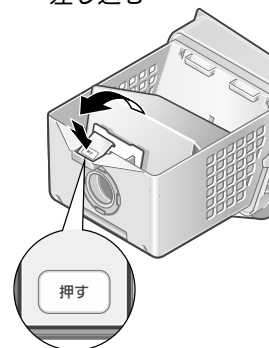
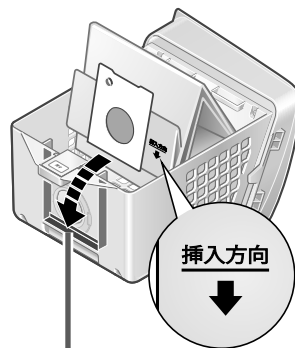
紙パックケース収納部



5 紙パックをセットする

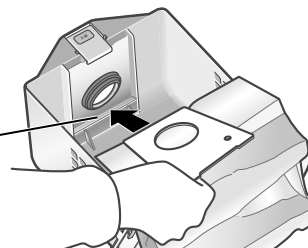
①紙パックに表示の
「挿入方向」に合わせて
セットする

②「押す」部を
押しながら
白ボール紙を
差し込む



● 白ボール紙を
内側の溝に
差し込む

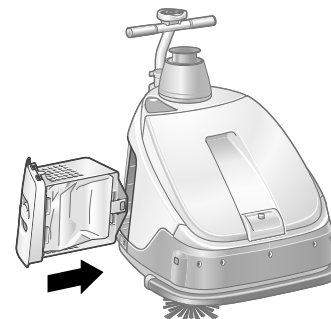
溝



お願い

- セットする前に、紙パックを軽く広げてください。
(吸込力では紙パックは広がりません。
広げずに使用した場合、ゴミがすぐにあふれることがあります)

6 紙パックケースを 取り付ける



お知らせ

- 紙パックが正しく入っていないと、紙パックケースが取り付けられません。

お手入れする

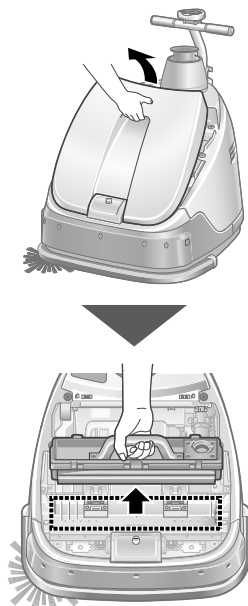
エラー表示(P.38)のとき / ゴミが絡みついたとき / 気になったとき

お手入れの前にはシャットダウン(P.16)をして、主電源スイッチを「OFF」にし、電池を取り外してください。

回転ブラシ・ブラシカバー

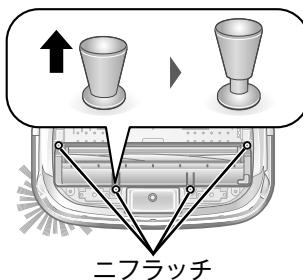
回転ブラシ・ブラシカバーを外してゴミを取り除く

- 1** ふたを取り外し、
ダストボックスを
取り出す(P.28)

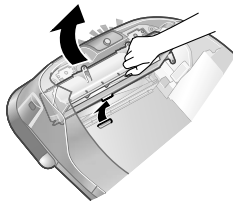


- 2** ブラシカバーを取り外す

- ① ニフラッチ(4か所)のピンを引っ張る
→ピンが浮く



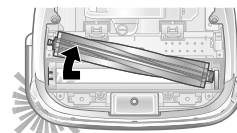
- ② ブラシカバーを外す



汚れが気になるときは、
水洗いもできます



- 3** 回転ブラシを取り外す

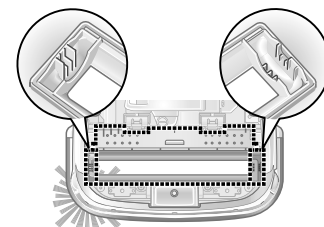


- 4** 回転ブラシのゴミを取り除く



- 絡まったゴミなどは、
溝に沿ってはさみで切る

- 5** 部分のゴミを取り除く

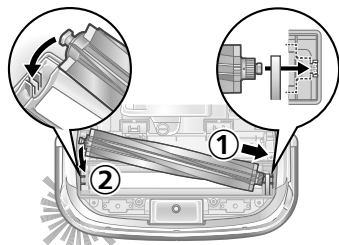


- 回転ブラシの軸受け部分に
たまったゴミを確実に取り除く

■取り付けは

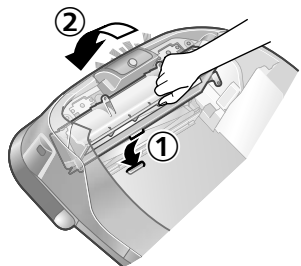
1 回転ブラシを 本体にセットする

- ①をはめ込み
- ②をはめる

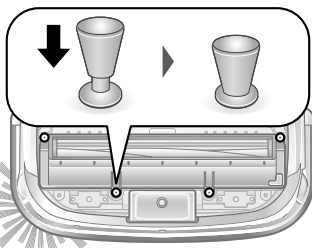


2 ブラシカバーを セットする

- ①本体の凹部にブラシカバー
のつめをはめ込み
- ②ブラシカバーを押し込む



- ③ニフラッチを押し込む



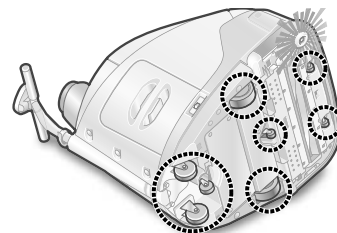
3 ダストボックスを入れ、ふたを取り付ける(P.29)

本体底面

部分のゴミを取り除く

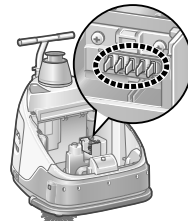


- 巻きついた髪の毛などは、ピンセットなどで取り除く

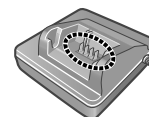


充電端子

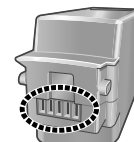
部分のゴミを取り除く



本体



充電器



電池

お願い

- 水洗いしたときは…
 - ・ 水気を切り、十分に乾燥させてください。(においの発生の原因)
 - ・ ドライヤーなどの熱風を当てないでください。(変形や故障の原因)
- 洗剤やベンジン、シンナー、アルコールなどを使わないでください。(ひび割れや変色の原因)
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

お手入れする (つづき)

エラー表示(P.38)のとき / ゴミが絡みついたとき / 気になったとき

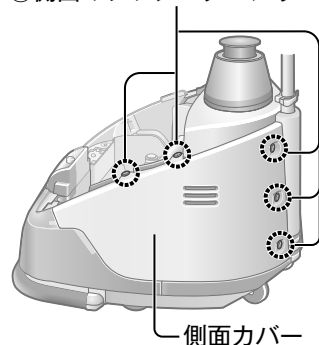
お手入れの前にはシャットダウン(P.16)をして、主電源スイッチを「OFF」にし、電池を取り外してください。

吸気パイプ

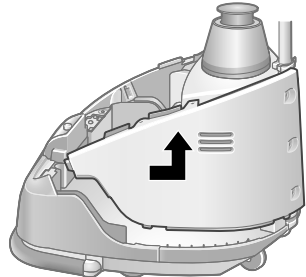
ゴミを取り除く

1 側面カバー(片側)を外す

①側面のプッシュターナーリベット(5か所)を外す



②側面カバーを横にスライドさせて外す



<取り外すとき>

①ドライバーなどでピンを回す
→ピンが浮く

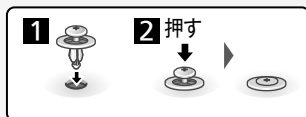
②ピンを引っ張る



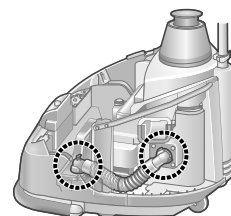
<取り付けるとき>

①プッシュターナーリベットを差し込み

②ピンを押し込む

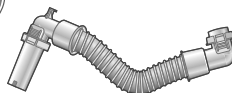
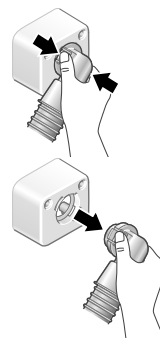


2 吸気パイプを外し、 吸気パイプ内の ゴミを取り除く



①左右の
ツマミを
押しながら

②引っ張る

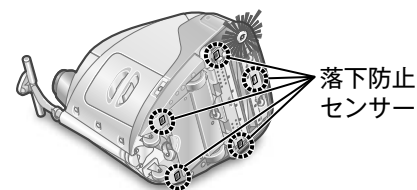


センサー部・赤外線送受信部

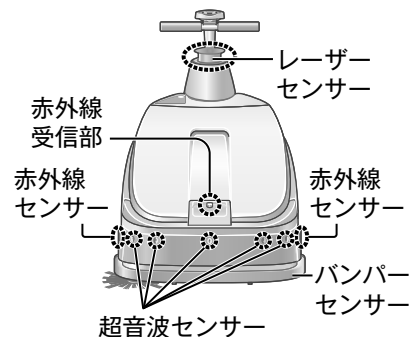
部分を柔らかい布で
水拭きする



● 固く絞る



落下防止
センサー



レーザー
センサー

赤外線
受信部

赤外線
センサー

赤外線
センサー

バンパー
センサー

超音波センサー



赤外線送信部



リモコン

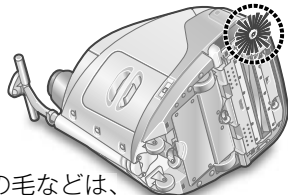
本体

柔らかい布で
水拭きする

- 固く絞る



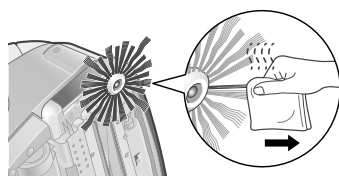
● 部分の絡みついたゴミを取り除く



- 巻きついた髪の毛などは、ピンセットなどで取り除く

サイドブラシのお手入れ
(ブラシの毛が曲がったとき、広がったとき など)

- お湯を含ませた布で、サイドブラシを10秒ほど挟み込み、引っ張るようにぬぐい取る



お知らせ

- サイドブラシは消耗品です。床面の種類によっては、摩耗度合いが異なります。毛が抜けたり、破損したりしたときは、サイドブラシを交換してください。サイドブラシ(別売)は、保守サービス担当窓口でお買い求めいただけます。

サイドブラシ

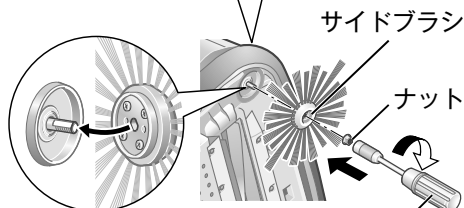
■ サイドブラシを外してゴミを取り除きたいとき

1

サイドブラシを外す

- ① サイドブラシを動かないように押さえながら
- ② ナットを外す

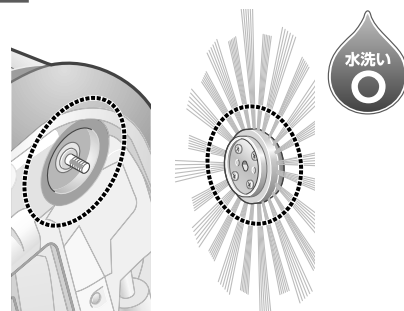
- 根元を押さえる



六角ナットドライバー(10 mm)

2

● 部分のゴミを取り除く



裏側のゴミも取り除く

■ 取り付けは、「サイドブラシを取り付ける」(P.11)を参照してください。

お願い

- 水洗いしたときは…
 - ・ 水気を切り、十分に乾燥させてください。(においの発生やさびの原因)
 - ・ ドライヤーなどの熱風を当てないでください。(変形や故障の原因)
- 洗剤やベンジン、シンナー、アルコールなどを使わないでください。(ひび割れや変色の原因)
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

音量の設定を変更する

音声ガイドや効果音の大きさを変更する

- 表示部が消灯のときは、「スタート/ストップ」ボタンを押して起動しましょう。
- 表示部が点灯しないときは、本体の主電源スイッチが「OFF」になっています。
→ 主電源スイッチを「ON」にして、「スタート/ストップ」ボタンを押して起動してください。

1  と  を同時に押す(3秒以上)

2  を押して  を選ぶ

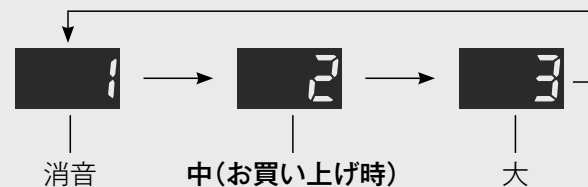
 押すたびに切り替わる



3  を押す

4  を押して、好みの音量を選ぶ

 押すたびに切り替わる



お知らせ ● 消音の設定のときは、一部の音声を再生しません。

▼

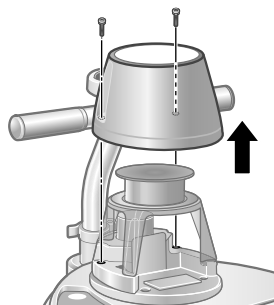
 を押す
→ 設定完了

ドライブレコーダー(別売品)の使い方

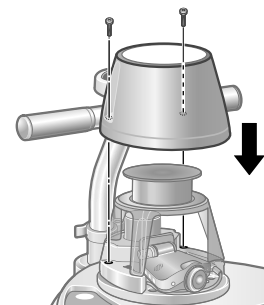
電源を入れる(録画する)

- 取り外し、取り付けには、いじり止めヘックスローブドライバー(T20)をお使いください。

- 1** 本体の動作確認ランプカバーのネジを外し、カバーを開ける

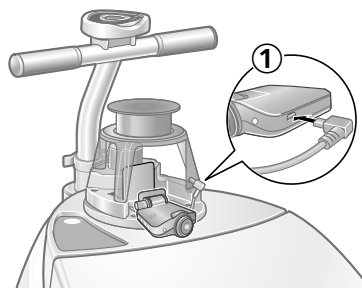


- 3** 動作確認ランプカバーを元のように取り付ける

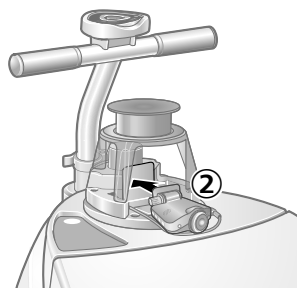


- 2** ドライブレコーダーを取り付ける

- ① 本体のUSB接続ケーブルをドライブレコーダーのUSB端子に接続する



- ② ドライブレコーダーを本体にセットする



- 4** ロボット掃除機の主電源スイッチを「ON」にする

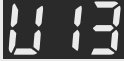
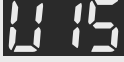
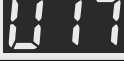
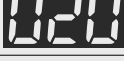
- 清掃を開始すると、自動的に録画を開始します。
(あらかじめ[自動録画・録音]機能が[オン]に設定されています)
- 清掃を終了すると、ドライブレコーダーの電源も切れて録画が終了します。

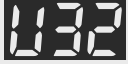
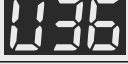
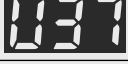
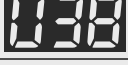
お願い

- 取り付け可能なドライブレコーダーについては、保守サービス担当窓口までご相談ください。
- 詳しい操作については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

音声ガイド(エラー表示)

■音声ガイドが流れたときは、原因を確認し、対処してください。(エラー表示は「スタート/ストップ」ボタンを押して、消してください)

音声ガイド	エラー表示 (エラーコード)	ここを確認	対処
レーザーセンサーを確認してください。		レーザーセンサーが認識していません。	→シャットダウン(P.16) ▶「スタート/ストップ」ボタンを押す
サイドブラシが回転していません。 確認してください。		サイドブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていませんか？	→異物を取り除く(P.35)
回転ブラシが回転していません。 確認してください。		回転ブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていませんか？ 吸気パイプにゴミが詰まっていますか？	→異物を取り除く(P.32、34)
タイヤが回転していません。 確認してください。		タイヤに糸くずなどの異物が絡みついていませんか？	→異物を取り除く(P.33)
走行できません。 障害物などがないか確認してください。		本体が移動の途中で止まっていたり、段差に乗り上げたりしていませんか？	
バンパーセンサーを確認してください。		バンパーの動きを妨げている障害物はありませんか？	→障害物を取り除く
ダストボックスが入っていません。		ダストボックスがセットされていますか？	→ダストボックスをセットする(P.29)
紙パックケースが入っていません。		紙パックケースがセットされていますか？	→紙パックケースをセットする(P.31)
前面の超音波センサーを確認してください。		超音波センサーが布などでふさがっていたり、汚れたりしていませんか？	→お手入れする(P.34)
側面の赤外線センサーを確認してください。		赤外線センサーが布などでふさがっていたり、汚れたりしていませんか？	→お手入れする(P.34)
底面の落下防止センサーが働きました。 確認してください。		本体が移動の途中で止まっていたり、段差に乗り上げたりしていませんか？ 落下防止センサーが汚れていませんか？	→お手入れする(P.34)
底面の落下防止センサーを確認してください。		落下防止センサーが汚れていませんか？	→お手入れする(P.34)

音声ガイド	エラー表示 (エラーコード)	ここを確認	対処
電池が高温のため、掃除を中断しました。		直射日光が当たるなど、本体を高温の場所で長時間使用していませんか？	
サイドブラシが回転していません。 確認してください。		サイドブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていませんか？	→異物を取り除く(P.35)
回転ブラシが回転していません。 確認してください。		回転ブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていませんか？	→異物を取り除く(P.32)
タイヤが回転していません。 確認してください。		タイヤに糸くずなどの異物が絡みついていませんか？	→異物を取り除く(P.33)
走行できません。 障害物などがないか確認してください。		走行を妨げている障害物はありませんか？	→障害物を取り除く
走行できません。 始めからやり直してください。		一時停止した場所と異なる場所から再開していませんか？	→「スタート/ストップ」ボタンを押す ▶清掃を始めからやり直す(P.25)
—		一時停止ランプが点灯していませんか？ ▶メールでお知らせ(本体には表示されません)	→一時停止中のため、 清掃を再開する(P.25)
充電してください。		電池残量がなくなっていないですか？	→充電する(P.16)
走行できません。 始めからやり直してください。		フロア仕様範囲を超えて走行しませんでしたか？(P.20) メモリの残量がなくなりました。	→「スタート/ストップ」ボタンを押す ▶マップ作成を始めからやり直す(P.22)
—		フロア仕様以外のフロアで走行しませんでしたか？(P.20) お掃除マップが作成できていません。	→「スタート/ストップ」ボタンを押す ▶マップ作成を始めからやり直す(P.22)

■「H」と「数字」が表示されたときは、点検が必要です。



表示内容(「H」のあとの2桁の数字)を確認して、すぐに主電源スイッチを「OFF」にし、保守サービス担当窓口にご連絡ください。

故障かな？

修理を依頼される前に、まず次の項目をご確認ください。

運転

主電源スイッチを「ON」にしても電源が入らない

- 電池が消耗していませんか？
→充電する(P.16)

運転しない

- リモコンの乾電池が消耗していませんか？
- 主電源スイッチは「ON」になっていますか？
- エラーコードを確認してください。(P.38)

運転中に止まる

- エラーコードを確認してください。(P.38)
- 本体がコードなどに引っ掛かっていますか？
- 薄いタオルなどの布や、ひもなどがタイヤに巻きついていませんか？
- 本体が段差を乗り越えられずに止まっていますか？
- 黒っぽいじゅうたんや床などの上で止まっていますか？ (P.14)

回転ブラシが止まる

- 回転ブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていますか？ (P.32)
- 吸気パイプにゴミが詰まっていますか？ (P.34)

速度が変化する

- センサーが障害物を検知したり、走行方向を判断したりするときに、速度を落としたり、う回したりすることがあります。異常ではありません。

まっすぐ進まない

- タイヤ・キャスターに異物が付着していませんか？ (P.33)
- 超音波センサー・赤外線センサー・レーザーセンサーがふさがっていたり、汚れたりしていませんか？
→お手入れする(P.34)

サイドブラシが回らない、回りにくい

- サイドブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていますか？ (P.35)
- 毛足の長さが7 mm以上の敷物(じゅうたんなど)の上では使用できません。また、長さが7 mm未満の場合でも、毛足の材質などによっては運転が停止したり、毛足がサイドブラシに絡みついたりすることがあります。

段差を回避できずに落下する

- 落下防止センサーは約10 cm未満の段差を認識しません。(P.13)
- 落下防止センサーが汚れていませんか？
→お手入れする(P.34)

サイドブラシが外れる

- サイドブラシを正しく取り付けられていますか？ (P.11、35)

操作をしていないのに突然動き出す

- 予約ランプが点灯していませんか？

障害物に衝突する、衝突することが増えた

- 超音波センサー・赤外線センサー・レーザーセンサーがふさがっていたり、汚れたりしていませんか？
→お手入れする(P.34)
- 超音波センサー・赤外線センサー・レーザーセンサー・バンパーセンサーで検知できない位置(高さ)に障害物がありますか？
- 本体後部には障害物を検知するセンサーがないため、後退したときに衝突する場合があります。
- いすやテーブルなどの脚、暗い色の壁・オフィス家具・障子・ふすま・カーテン、キャスターが付いたテレビ台などの床から浮いたオフィス家具や器具などには衝突する場合があります。

本体・電池・充電器

本体・電池・充電器が熱い

- 運転中や運転後、充電中に本体・電池・充電器が温かくなりますが、異常ではありません。
- 手で触れられないほど熱い場合は、異常です。
→直ちに使用を中止し、保守サービス担当窓口にて修理をご依頼ください。

充電器の電源プラグをコンセントに差し込むと火花が散る

- 充電器は正常なものでも火花が発生する場合があります。(P.16)
→電気は直流・交流に関わらず、回路が成立する直前(金属が触れる直前)から流れ始めるため、電圧・電流の違いにより必ず大小の火花は出ております。スイッチ付電源タップをご使用の場合、主電源スイッチを「OFF」にして接続し、主電源スイッチを「ON」にすると火花は発生しません。ただし、コンセント端子以外から火花が発生している場合は機器の異常と考えられます。保守サービス担当窓口にご相談ください。

音

運転音が高くなった

- ダストボックス・紙パックがゴミでいっぱいになっていませんか？ (P.28、30)
- 回転ブラシに糸くずや髪の毛などの異物が絡みついていますか？ (P.32)
- 吸気パイプにゴミが詰まっていますか？ (P.34)

使用中、サイドブラシから音(バタバタ)がする

- 故障ではありません。
床面の種類や状態によっては、サイドブラシから回転音がすることがあります。

故障かな？ (つづき)

修理を依頼される前に、まず次の項目をご確認ください。

充電

充電できない(残量表示ランプが点灯しない)

- 充電器の電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？
- 電池が充電器に確実にセットされていますか？
→電池を充電器にセットし直す
(正しくセットされていれば、残量表示ランプが点灯)
- 電池または充電器の充電端子に異物などが付着していませんか？
→異物を取り除く(P.33)
- 運転直後は電池の温度が上昇し、充電できない場合があります。
温度が下がるまでしばらくお待ちください。
- 残量表示ボタンを押して、残量表示ランプの表示状況を確認してください。
(P.18)

残量表示ランプが消えない(充電時間が長い)

- 充電時間は周囲温度・使用時間などの使用条件により、最長14時間かかることがあります。
- 14時間以上充電しても残量表示ランプが消えない場合は、機器の故障と考えられますので、保守サービス担当窓口にご相談ください。

充電しても運転時間が短い

- 周囲温度が高い所や低い所で充電しませんでしたか？
→室温が5℃～35℃の場所で充電する(P.16)
- 正しく充電しても使用時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。
(P.44)
(電池の寿命は、周囲温度・使用時間など、使用条件により異なります)

残量表示ボタンを押しても残量表示ランプが点灯しない

- 電池残量が少ない状態で一定期間放置すると保護回路が働きます。
→充電する(P.16)
(充電器にセットすると解除されます)
- 充電しても保護回路が解除されない場合は保守サービス担当窓口にご相談ください。

充電が完了したのに残量表示ランプが5個全部点灯しない

- 充電中に電源プラグを抜きましたか？
→再度、充電してください。(P.16)
- 充電器の充電端子に異物などが付着していませんか？
→お手入れする(P.33)
- 正しく充電しても使用時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。
(P.44)
(電池の寿命は、周囲温度・使用時間など、使用条件により異なります)

リモコン

リモコン操作ができない

- 乾電池が消耗していませんか？
- 乾電池の⊕⊖極が逆になっていませんか？
- 本体の赤外線受信部やリモコンの送信部が汚れていませんか？
→お手入れする(P.34)
- 本体が日光に当たっていたり、赤外線を出す機器(ハロゲンヒーターや他の機器のリモコン)の近くにあっていませんか？日光や赤外線を出す機器(ハロゲンヒーターや他の機器のリモコン)から発する赤外線が影響して、本体のリモコン操作ができなくなる場合があります。
→カーテンなどで日光を遮る
(すりガラスから入る日光でも同様のことが起こる場合があります)
→赤外線を出す機器のそばにある場合は、本体と機器を遠ざける

予約

設定した時間に予約運転をしていない

- 本体の状態によっては、予約運転を開始しない場合があります。(P.27)
- 予約ランプは点灯していますか？
- 電池はセットされていますか？

確認後、なお異常があるとき

- 保守サービス担当窓口までご連絡ください。

お掃除マップ

お掃除マップ作成(リモコンで走行)中に操作部に表示され効果音が鳴る

- メモリー残量が50 %以下になると下記の表示・効果音が鳴ります。

残量：50 %以下  効果音：1回

残量：25 %以下  効果音：2回

残量：10 %以下  効果音：連続

お掃除マップ番号が選べない

- 「一時停止」ランプが点灯していませんか？
→「一時停止」ランプを解除(P.25)して、お掃除マップ番号を選ぶ

なお

排気からゴミのにおいがする

- においの強いゴミを吸ったまま放置していませんか？
→運転を繰り返しても気になるときは、ゴミを捨てる(P.28、30)

電池について

■電池の種類

- このロボット掃除機は、リチウムイオン電池を搭載しています。

お願い ●電池は標準品を使用してください。

■電池の容量表示

- 電池のPSEマーク部に表示している容量表示数値(16.0 Ah)は電気用品安全法(PSE)において、JIS C 8711 で規定された試験での測定容量値を定格容量値として表示しています。

■電池の交換・廃棄

- 保守サービス担当窓口にご相談ください。



- 大部分の素材がリサイクル可能です。貴重な資源を守るために、使用済みの充電式リチウムイオン電池は、廃棄しないで保守サービス担当窓口にお持ち込みいただくリサイクル協力店にご相談ください。
- 弊社は小形充電式電池の回収・リサイクルを実施する「一般社団法人JBR C」に参画し、リサイクル活動を推進しています。リサイクル協力店をお探しの場合は以下のウェブサイトから検索してください。
<https://www.jbrc.com/>

■交換時期の目安

- 電池は消耗品です。1回の満充電で運転できる時間が著しく短くなったり、運転できなくなったりしたときは電池の寿命ですので交換が必要となります。

お知らせ ●冬期(約5℃以下)や寒い環境下では、1満充電あたりの運転時間が短くなります。
この現象は電池の特性で、気温が高くなると運転時間は元に戻ります。

●電池交換時期の目安と、製品の保証期間とは関係ありません。

■電池の長期保管

- 本機から電池を取り外し、残量表示ランプが2~3個点灯するまで充電し保管してください。
- 周囲気温が涼しい場所(15℃~25℃)で保管してください。
- 電池の劣化を抑えるため、6か月に1回は残量表示ランプが2~3個点灯するまで充電してください。
- 電池の残量表示ボタンを押したときに、残量表示ランプが点灯しない場合は、保護回路が働いています。電池を充電器にセットし、充電状態にすると解除されます。
- 長期間保管後、再使用する場合、あらかじめ電池残量を確認し、不足しているときは、必ず充電してください。

お知らせ ●電池が劣化する条件(以下のような条件では劣化が早まります)

- ・放置期間が長く、使用頻度が低いとき
- ・電池残量が少ない状態で長期間放置したとき
- ・高温になる場所で充電を繰り返したり、保管したりしたとき

●劣化した電池は必要以上の充電を行わないように、お知らせする機能を搭載しています。(P.18)

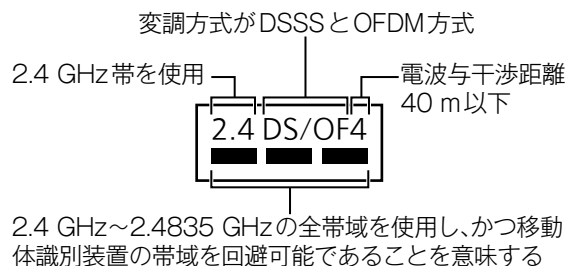
内蔵無線LAN使用上のお願い

■使用周波数帯

内蔵無線LANは2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記項目に留意してご使用ください。

■周波数表示の見方

周波数表示は、本体内に記載しています。



無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、保守サービス担当窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、保守サービス担当窓口へお問い合わせください。

■機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を内蔵していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解／改造する
- 定格銘板や内蔵無線装置の適合表示を消す

■使用制限

使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線LANの使用または使用不能から生じる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク(SSID※)が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- 磁場、静電気、電波障害が発生する場所で使用しないでください。次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
 - ・ 電子レンジ
 - ・ 他の無線LAN機器
 - ・ その他2.4 GHz帯の電波を使用する機器(デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)
 - ・ 電波が反射しやすい金属物など
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

※ 無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

■セキュリティ対策

- 無線LANは電波を使ってデータを送受信するため、不正なアクセスを受けるおそれがあります。データの安全を確保するため、セキュリティ対策を行ってください。(P.19)セキュリティ対策を実施せず問題が発生した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 無線LANルーターのパスワード(暗号化キー)は、8文字以上、63文字以下に設定し、定期的に変更することをおすすめします。(文字数の制限は無線LANルーターの取扱説明書をご確認ください)

著作権など

本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、® マークは一部記載していません。

■ソフトウェアについて

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

最新の情報は、パナソニックのウェブサイトでご確認ください。

仕様

外形寸法		幅 590 mm × 奥行 650 mm ×高さ 730 mm (ハンドルを縮めた状態、リモコンホルダーを含む)	
質量		24 kg (電池を除く) 26 kg (電池を含む)	
集じん容積		1 L (ダストボックス) 5 L (紙パック)	
使用電池		充電式リチウムイオン電池	
電池寿命※		繰り返し充放電 約1000回	
定格電圧		DC 25.2 V	
連続使用時間		約150分(満充電・電池初期／20℃時)	
充電器	入力	AC 100 V 50-60 Hz	
	出力	DC 29 V 4 A	
	充電時間	約6時間(電池が空状態から充電を開始した場合、周囲温度20℃時)	
付属品		・充電器(1個) ・乾電池(2個) ・ネジ(1個) ・リモコン(1個) ・リモコンホルダー(1個) ・キー(3個)	
無線LAN規格	無線LAN規格	IEEE802.11b /g / n	
	周波数範囲	2.4 GHz帯	

※周囲温度20℃の場合(ただし、周囲温度、使用頻度、お使いの環境・条件などによって異なります)

●本機のレーザーセンサーは、IEC 60825-1：2014「レーザー製品の安全性」クラス1レーザー製品です。

●抗菌効果について

部品名	試験機関名	試験方法	試験結果	抗菌方法	抗菌処理された部品名称
ダストボックス	(一財) ポーケン品質評価機構※1	JIS Z 2801：2012に基づく	抗菌活性値2.0以上	樹脂に含有	抗菌加工樹脂
回転ブラシ※2	(一財) ポーケン品質評価機構※3	JIS L 1902：2015に基づく	抗菌活性値2.0以上	銀イオン加工有り	ブラシ

※1 試験成績書発行年月日：令和3年4月26日 試験成績書発行番号：JNLA2020K1225

試験成績書発行年月日：令和3年12月3日 試験成績書発行番号：25021007297-1

※2 ブラシ

※3 試験成績書発行年月日：令和3年7月27日 試験成績書発行番号：20221017004-1

定期保守整備契約について

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、業務用のロボット掃除機です。

走行や集じんの機能に関する機構部や一部のセンサーは、累計稼働時間やご使用の環境によって消耗・劣化いたします。

このためトラブルを未然に防止し、末永く安心してご使用いただくためにお客様の正しいご使用と、定期的な点検整備が必要です。

保守点検には、専門の技術が必要です。そこでお客様に代わって定期的な点検と整備をお引き受けし、定期保守点検と消耗部品の交換をする「定期保守整備契約」が必須となります。

定期保守整備契約書(別紙)の内容をよくお読みいただき、定期保守点検の申し込みをお願いいたします。

パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナー事業部

〒527-8501 滋賀県東近江市林田町1500番地

© Panasonic Corporation 2022

AVA01Z014001
H0222-1045